事例No.	1901
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県たつの市

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	地独法化

事例内容・タイトル

市立病院の地方独立行政法人化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【兵庫県たつの市】
市立病院の地方独立行政法人化

地独法化 **病院事業**

兵庫県たつの市(地独)たつの市民病院機構

● 取組の概要

市民が健やかに暮らせるまちの実現のため、病院を安定的に運営し、地域において果たしている役割を長期的に維持していくため、一般地方独立行政法人（非公務員型）に移行した。

◆総事業費　地独法化に要する費用　60,603千円　出資金　370,000千円

◆背景

- 経営面においては、元来からの厳しい経営状況に加え、平成24年の新病院建設に伴い診療機能に見合わない医療機器整備への高額な投資や医療環境の変化等も相まって深刻な赤字を招き、市は多額の繰出しを行う状況となった。
- 経営形態検討委員会を設置し議論した結果、経営の自由度が高く、職員の処遇面での変化を最小に留めることができる地方独立行政法人化し改善を図ることとなった。

◆具体的内容

- 経営について理事長を中心とした効率的に運営する組織体制を整備し、コロナ禍において日々変遷する状況について、柔軟かつ迅速に対応した。
- 医療事務や財務等の専門的知識を有するプロパー職員を採用し、経営に必要な人材を確保した。

◆効果

- 施設基準の取得による診療単価の向上や積極的な新型コロナウイルス感染者対応等により経常収支比率、医業収支比率は移行前及び計画上の目標値を大きく上回ることができた。
  （経常収支比率　令和元年度102.9%　→　令和3年度110.4%）
  （医業収支比率　令和元年度 85.7%　→　令和3年度 97.3%）

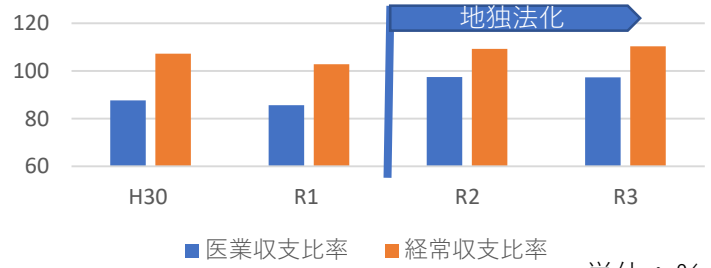
● 取組のポイント

- 病床数120床と小規模病院の地独法化は当時全国的に事例が少数であったが、柔軟かつ機動性の高い病院経営を確保できる地方独立行政法人のメリットを活かし、経営向上の効果を得ることができた。
- 新型コロナウイルス感染症が拡大したが、地独法化により、県、医師会、市、近隣病院と連携して、地域の新型コロナウイルス対策について先導的な役割を果たすことで地域に必要な医療を提供する医療機関としての立ち位置を確立することができた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　74,750人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　210.87km²（令和4年1月1日時点）
- 許可病床　120床（令和3年度決算）

経営指標の推移



単位：%

	H30	R1	R2	R3
医業収支比率	87.7	85.7	97.5	97.3
経常収支比率	107.3	102.9	109.3	110.4

● 取組のスケジュール

- 平成30年5月たつの市民病院経営形態検討委員会を設置、答申を受け平成30年10月に地方独立行政法人化を決定。
- 令和2年4月に地方独立行政法人に移行。

● 今後の展望

- 医師を始めとする医療職の確保及び資質向上を図るため、働きやすい職場環境や研修体制の更なる充実を目指す。
- 地域包括ケアシステムを支える在宅療養支援病院として訪問診療や訪問看護事業等の地域の在宅医療の充実させ、地域への貢献を図る。